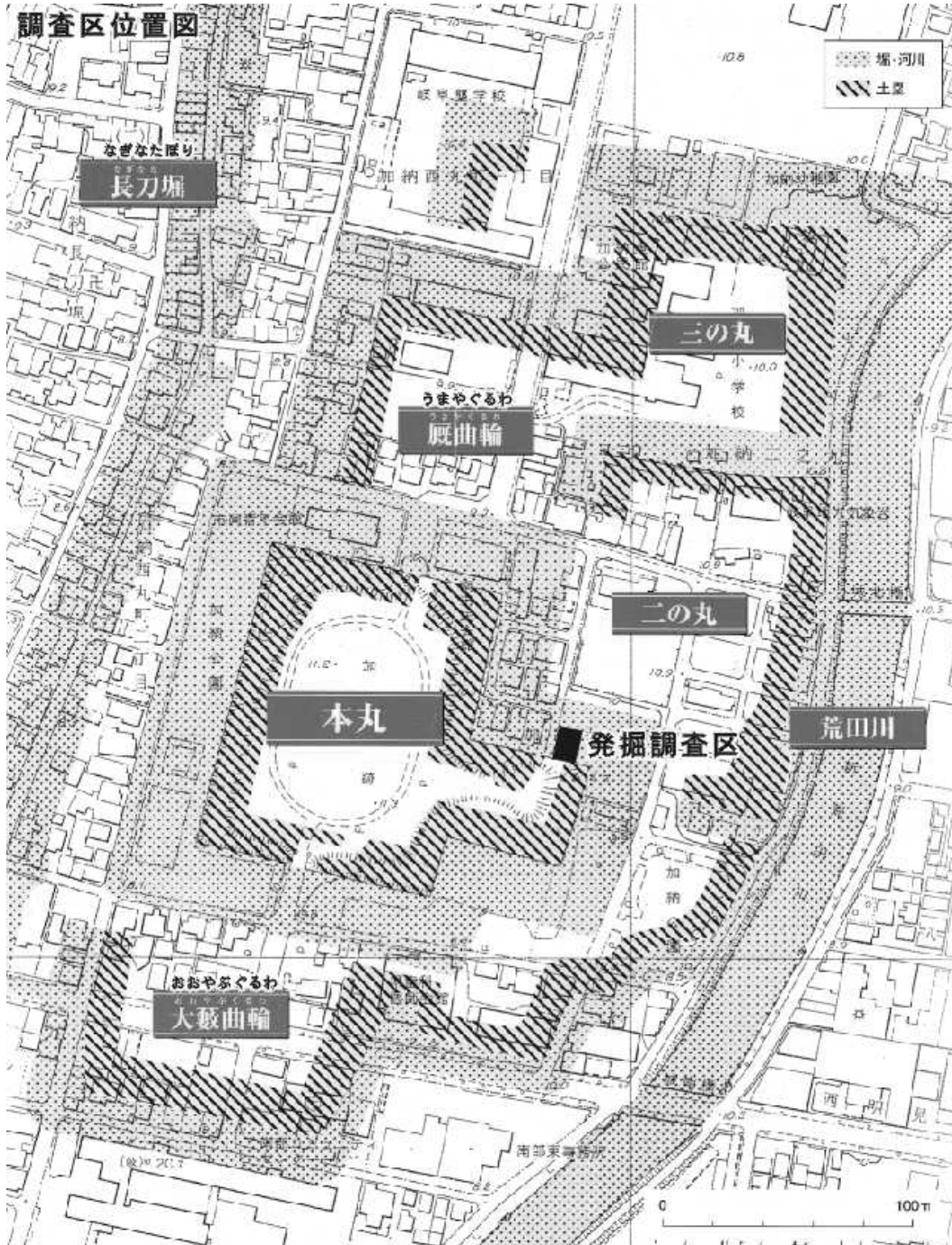


史跡加納城跡 現地公開資料

日 時；平成 16 年 10 月 24 日（日）

午前 10 時～正午

場 所；岐阜市加納丸之内



岐阜市教育委員会
(財)岐阜市教育文化振興事業団

史跡加納城跡 発掘調査（10次）の成果

調査期間 平成16年9月24日～11月9日（予定）
調査地点 本丸の東へ張り出す入り口部分（大手門）北の堀跡
出土遺物 瓦 多数、瀬戸美濃産陶器他土器 数点
調査の成果

「堀障子」（詳細は後述）

昨年度までの発掘調査成果により、堀の断面形状は、本丸石垣前に幅約2mの平坦部があり、そこから急傾斜で下り堀底に至り、中央部付近で畝状に高く盛り上がる、極めて特徴的な形状を示すことが判明しています。堀の幅は約28m、深さ約1.8m、最深部は現地表下約2.5mです。

今回の調査で、堀底中央部付近に見られた畝状の高まりは、「堀障子」の一部であることが分かりました。中央部付近の高まりは、堀と平行する向き（東西）で続くようで、また、中央部より本丸側では、堀の方向と直交する向き（南北）で2本の同様な高まりを確認することができました。断面の形状から、もう1本は確実に存在すると思われます。このような形態の堀は「堀障子」と呼ばれており、加納城では初めて確認できた遺構です。

過去の調査では、堀に対して直交方向の高まりは確認されていません。これは調査区が狭小であったためですが、平行方向の高まりは大部分の調査で確認されており、「堀障子」が本丸を全周する可能性があります。

瓦集積

堀の中の2箇所、瓦の集積が出土しました。

瓦集積1は火災等による二次的な被熱を受けており、昨年度出土した瓦集積と同一のものと見られます。加納城で出土する最新の瓦が含まれていないこと、堀内の自然堆積層の繋がりから、江戸時代前半のある時期に、本丸内の建物の改修等（火事が原因か？）において不要となったものをまとめて捨てていると思われる。もう一つの瓦集積2は堀内の自然堆積層最上部にあり、状況から見て、廃城時（明治5、6年）の建物撤去の跡と見られます。

まとめ

今回の調査では、築城時の「堀障子」、江戸時代前半の「瓦集積1」、廃城時の「瓦集積2」と大きく3時期の遺構が見つかりました。

特に注目されるのは、「堀障子」です。通常、堀内には江戸時代以降、自然に粘土や砂が堆積し、現況の地形からは築城時の堀底の様子を識別することは不可能です。今回の調査でも、瓦集積2が形成されたときですら、既に堀障子の深い部分はほぼ埋没してしまっており、廃城時においては、全く確認することができない状態です。発掘調査で、本来の加納城の姿の一部を明らかにするこ

とができたことは、大きな成果です。

築城時の様子を確認することができたのは、加納城の堀が明治から昭和の時期に全て埋められてしまい、良好な状態で完全密閉されていたことが大きいと思います。現存する他の城の水堀では、浚渫作業などで、本来の堀底が破壊されてしまっている可能性も考えられますし、現存するが故に、発掘調査も困難で、調査例自体ほとんどありません。類例の少なさは、そのあたりも考慮する必要があり、将来的には多くの事例が見つかるかもしれません。ただ現時点においては、近世初頭に築かれた城の姿を示すものとして、ほとんど例のない大変貴重な成果といえるでしょう。

「堀障子」解説

堀底に畝状の障壁を有する形態の堀のうち、障壁による区画が2列以上のもの(a)。障壁はT字あるいは十字に交差する。区画が1列のもの(b)は畝堀と呼ぶ。

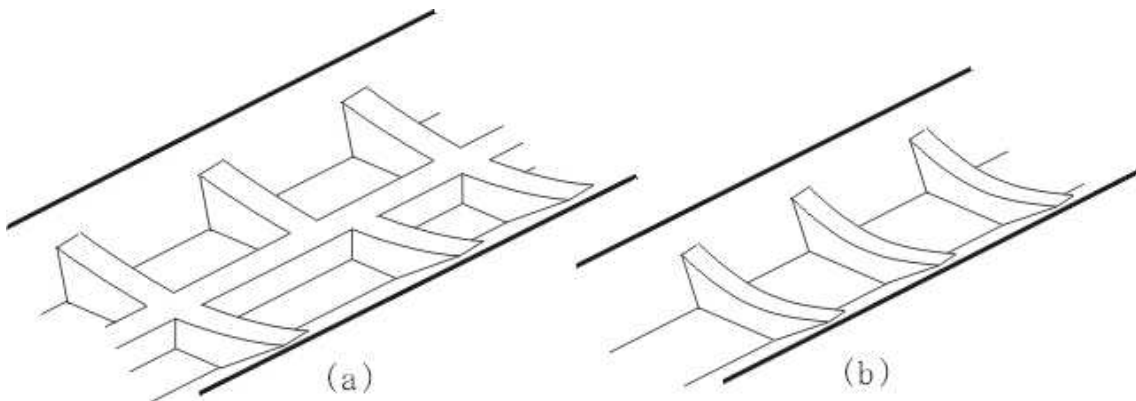
用語は江戸時代より軍学上使用されていた言葉で、現在では「障子堀」と呼称されることもある。

全国では山城、平城両者に見られ、60前後の城で確認されているが、東日本に大多数が分布する。後北条氏に関連する城に多く、その特徴とされてきたが、豊臣期の大坂城など、織豊系城郭でも確認されている。

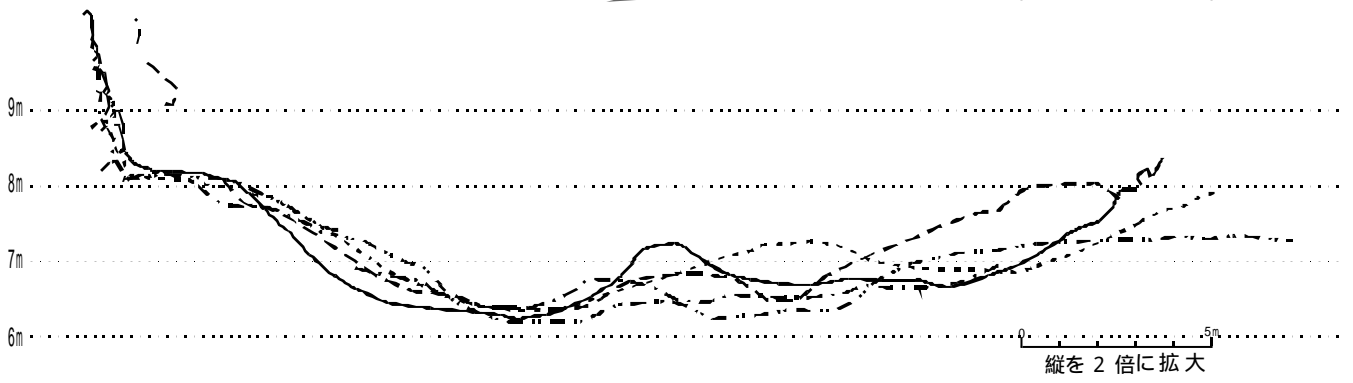
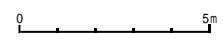
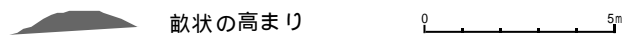
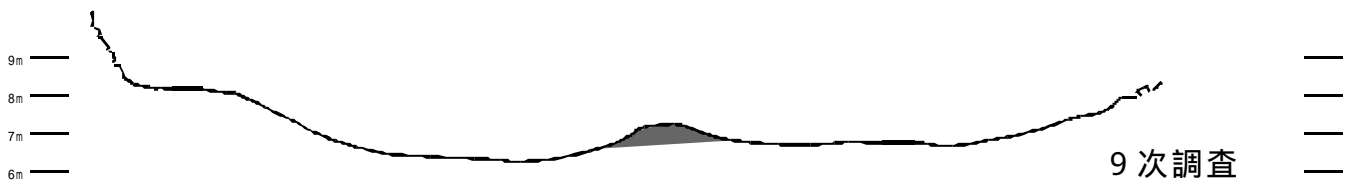
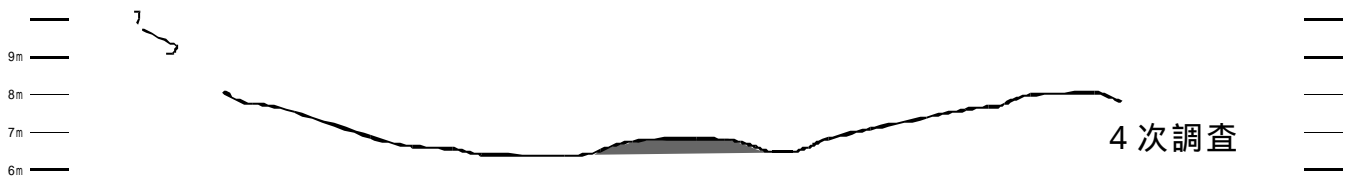
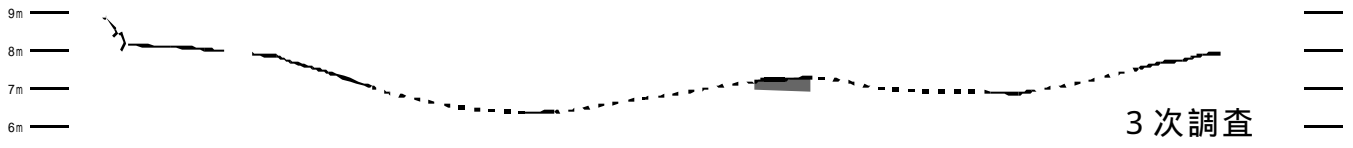
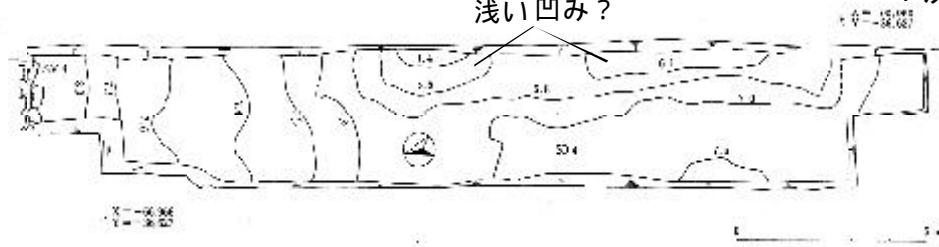
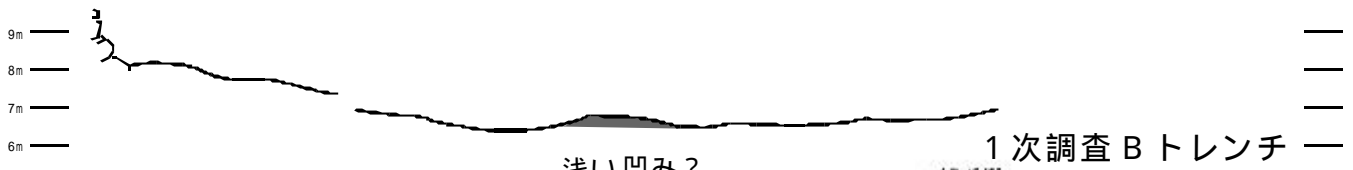
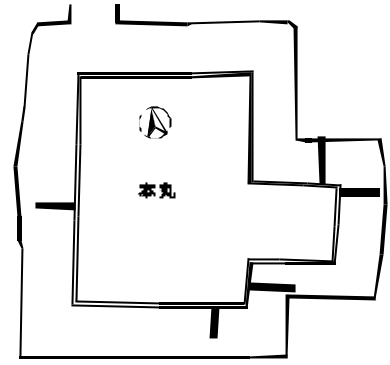
文献(軍学書)によれば、その設置目的は堀内の自由な移動の防止 築城時の防水、流水調整 貯水(山城の場合)とされる。

堀障子・畝堀構築の盛期は、戦国時代で、17世紀以降に築かれた城では確認事例がほとんど無い。近世城郭における「堀障子」の出土例は、大坂城三の丸、米沢城二の丸など数例のみである。

絵図に「堀障子」が表記されている例は無く、発掘など考古学による調査方法でしか、実態を明らかにする方法はない。

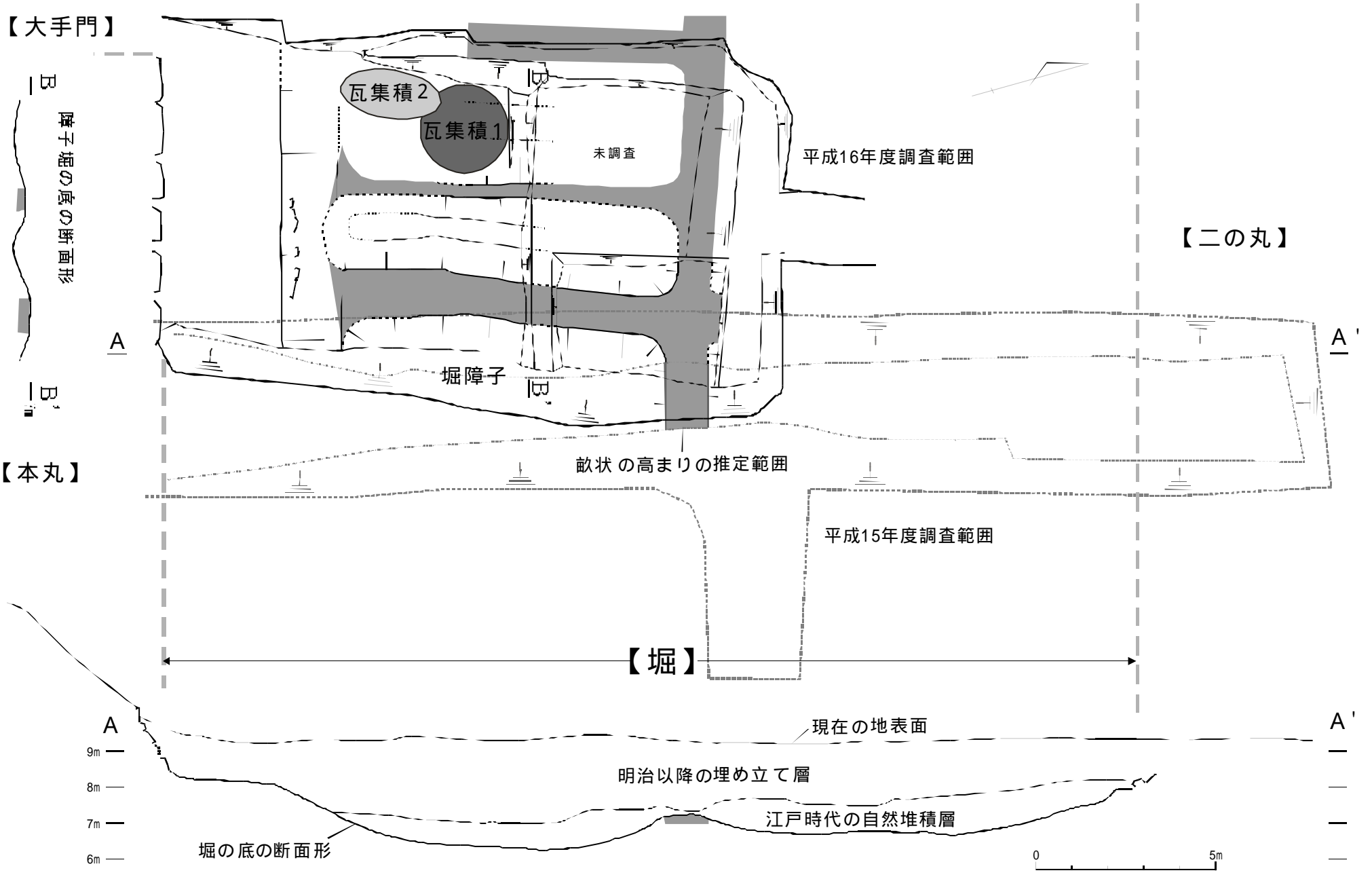


加納城本丸を巡る堀の断面図



加納城跡発掘調査(10次)略平面図・断面図

【大手門】



【二の丸】

【本丸】

【堀】